

～知を繋ぎ、知で繋ぎ続ける九州工業大学に向けて～

学長 尾家 祐二

「強い信頼関係」でグローバル社会の要請に応える質の高い教育研究活動の実現

- 財源の多様化による特色ある教育研究活動の展開
- 学外とのつながり、キャンパスの多様化による活気溢れる大学づくり
- グローバル環境で活躍し続ける技術者の育成
- 企業との研究連携の促進
- 社会との対話を通じた本学活動の学外への発信

1. 平成28年度実績

(◎：新規事業、○：強化事業、●：継続事業)

(1) 教育支援・学生支援

No.	区分	事業内容
1	◎	平成30年度改組計画の推進 (工学部宇宙システム工学科の新設、情報工学部の学科再編、類別入試と共通教育後の学科配属)
2	◎	教養教育院における教養教育改革案の策定 (全学共通の教養教育カリキュラム、習熟度別英語教育、英語能力試験統一 (TOEIC)、グローバル教養科目等)
3	◎	6年一貫教育グローバル・エンジニア養成コース (GE コース) への登録開始 (登録者数 工学部 49 名、情報工学部 136 名、計 185 名)
4	○	部局横断的なFD活動を推進するため全学FD促進専門部会を設置
5	●	産学連携教育審議会開催 (12月)
6	●	グローバル人材育成に係る学生向けGCEセミナー開催 (8月、2月)

(2) 研究力強化

No.	区分	事業内容
1	◎	国立大学改革強化推進補助金特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」の交付申請及び7名の採用枠獲得
2	◎	産学連携推進のため「学術指導」制度の導入
3	◎	海外の研究機関又は工業高等専門学校で研究者として活動する卒業生との連携支援事業 (採択7件)
4	○	博士研究員等の公募を行い、平成29年度には博士研究員5名、国際共同博士研究員4名、リサーチスカラー2名を雇用予定
5	○	UPM及び台湾科技大学とのジョイントプログラム (研究連携) の平成29年度締結に向け準備を開始
6	○	学術機関リポジトリの活用による論文公開の促進 (平成28年度 新規登録数388件(1/31現在) 年度末見込約500件 前年度より倍増)
7	○	科研費チャレンジ支援に加え、科研費ステップアップ支援制度を新設
8	○	特色ある研究分野を強化するため、戦略的研究推進領域に3研究ユニットを設置
9	○	全教員を対象とした利益相反マネジメント体制の構築

(3) グローバル化の促進

No.	区分	事業内容								
1	◎	タイ（キング・モンクット工科大学北バンコク校）や台湾（台湾大学、台湾科技大学、台北科技大学）における拠点形成に向けた新たな展開								
2	◎	ニューヨーク市立大シティ校と国際交流協定を締結（1月） これを含め、平成28年度に新たに国際交流協定を20校（大学間協定12校、部局間協定8校）と締結								
3	◎	九州経済国際化推進機構（九州経済連合会、九州経済産業局）との協力体制の構築（合同のマレーシア派遣団（3月））								
4	◎	JICA との協力体制の構築								
5	◎	在学生に対して海外渡航経験や海外に対する意識調査アンケートの実施								
6	○	グローバル・パートナーシップ強化、拡大のために学長等が6つの国と地域の11大学を訪問								
7	○	学生の長期海外派遣の推進 （新規採択のErasmus+により、フランスのロレーヌ大学へ4名の学生を6ヶ月派遣等）								
8	○	UPM とのLOI 締結（3月）								
9	○	学生の海外派遣の拡充 【参考】派遣数推移 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>393名</td> <td>430名</td> <td>517名</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度		393名	430名	517名
	平成26年度	平成27年度	平成28年度							
	393名	430名	517名							

(4) 入試制度改革

No.	区分	事業内容
1	○	OBを活用したAO型入試の導入及びその全国展開に向け、調査・検討
2	●	平成30年度入試に向けて、3つのポリシーのうちAPを決定

(5) 管理運営体制と情報発信力の強化

No.	区分	事業内容
1	◎	人材の適切な確保と部局を越えた人材活用を協議する人財活性化推進会議を設置（部局の枠を超えた教育職員の人事異動を実現）
2	◎	財政基盤強化のための九州工業大学基金の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・11月より基金募集開始（3/31 現在 600万円 個人：41名、企業：11社） ・熊本地震で被災した学生への経済的支援（20名） ・卒業、修了が見込まれるにもかかわらず、経済的な様々な理由により、修学が困難になった学生に対する授業料支援を開始
3	◎	情報セキュリティ対策基本計画の策定
4	○	組織的な情報共有と迅速な判断を行うため、経営企画会議を定期開催
5	○	学長企画室を設置し、中期目標・中期計画の進捗を管理
6	○	公式ウェブサイト等活用した広報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学長からの発信を一元的にするため、「学長室より」のページを作成 ・海外への情報発信力を強化するため、英語版ウェブサイトのTOPICS欄の充実 ・新たな広報メディアとして公式SNS（Facebook, Twitter）導入

(6) 学内外とのインタラクション

【学 内】

No.	区分	事業内容
1	◎	新規採用・昇任教育職員と学長との意見交換会定例化（3月31日現在 合計16名）
2	◎	事務職員・技術職員を対象にした満足度調査を実施し、学内の各種改善活動に着手
3	○	給与の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・月例給及びボーナスの引き上げの人事院勧告に伴い、国の制度を参考にして4月に遡及するように改正 ・7時間45分を超え、法定労働時間に達するまでの15分について125/100の割増賃金の支給を行うように改正 ・専門職教員の処遇改善

【学 外】

No.	区分	事業内容
1	◎	学長記者懇談会の定期開催（報道関係者との連携）（5月、9月、1月） 教員による研究紹介および学生による学生プロジェクト紹介等も実施
2	◎	北九州市との第1回幹部懇談会開催（2月）
3	◎	福岡県警察「産学官連携によるサイバーセキュリティに関する協定」を締結（6月）
4	◎	平成28年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に、本学が提案した「IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業」（自治体：北九州市）が採択
5	○	経営協議会において学外委員へ本学紹介（教員の研究、学生プロジェクト）

(7) 男女共同参画事業

No.	区分	事業内容														
1	◎	平成28年4月に男女共同参画推進室を設置し、「学長宣言」「アクション・プラン」を策定 主な活動内容 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>活動時期</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2016年</td> <td>5～6月</td> <td>女性教育職員ヒアリング実施</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・男女共同参画に関する執行部セミナー ・教育職員向け講演会の開催</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>全教職員を対象とした、男女共同参画に関するアンケートの実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2017年</td> <td>1～3月</td> <td>入試課・入試担当副学長と協同して、育児等を理由とする土日入試業務担当困難者について対応（一部職員を業務対象から除外、臨時保育所を開設）</td> </tr> <tr> <td>2月～</td> <td>在宅勤務制度の導入とそれに伴う4名の女性教育職員の制度活用</td> </tr> </tbody> </table>	活動時期	活動内容	2016年	5～6月	女性教育職員ヒアリング実施	10月	・男女共同参画に関する執行部セミナー ・教育職員向け講演会の開催	11月	全教職員を対象とした、男女共同参画に関するアンケートの実施	2017年	1～3月	入試課・入試担当副学長と協同して、育児等を理由とする土日入試業務担当困難者について対応（一部職員を業務対象から除外、臨時保育所を開設）	2月～	在宅勤務制度の導入とそれに伴う4名の女性教育職員の制度活用
活動時期	活動内容															
2016年	5～6月	女性教育職員ヒアリング実施														
	10月	・男女共同参画に関する執行部セミナー ・教育職員向け講演会の開催														
	11月	全教職員を対象とした、男女共同参画に関するアンケートの実施														
2017年	1～3月	入試課・入試担当副学長と協同して、育児等を理由とする土日入試業務担当困難者について対応（一部職員を業務対象から除外、臨時保育所を開設）														
	2月～	在宅勤務制度の導入とそれに伴う4名の女性教育職員の制度活用														

【参考】

THE 『世界大学ランキング 日本版 2017』 にランクイン

このランキングは、日本の大学における「教育力」に焦点を当てたもので、「教育リソース」「教育満足度」「教育成果」「国際性」という4ピラー(分野)と11メトリクス(項目)で構成され、大学の教育力を総合的に評価し、各メトリクスは、学生数などの大学入力情報、競争的資金の獲得数などの引用情報、高校の教員・高等教育機関研究者・企業の人事担当者からの評判調査情報をもとに算出されています。

本学は、総合順位で全大学中『28位』、国立大学の中では『19位』、九州の大学の中では『4位』となりました。また、「教育成果」でも全大学中『30位』となるなど、4分野の全てにおいてランクインしました。

総合 順位	大学名	総合	分野(比率)			
			①教育 リソース (38%)	②教育 満足度 (26%)	③教育 成果 (20%)	④国際性 (16%)
1	東京大学	88.5	87.8	99.8	97.1	61.0
2	東北大学	87.4	83.6	99.7	96.8	64.8
3	京都大学	86.8	84.2	99.7	97.0	59.2
4	名古屋大学	86.3	80.1	98.4	96.2	68.9
4	東京工業大学	86.3	82.2	98.8	96.0	63.7
6	大阪大学	86.1	80.4	99.0	97.0	64.9
7	九州大学	85.1	79.1	98.7	95.3	64.4
8	北海道大学	82.8	75.5	98.2	95.6	59.1
9	筑波大学	81.7	72.2	99.1	86.4	70.1
10	早稲田大学	75.9	52.9	99.5	91.2	72.9
11	慶応義塾大学	75.4	60.7	99.4	96.5	45.0
12	広島大学	75.2	66.7	97.6	76.2	57.5
13	神戸大学	74.4	65.8	94.0	83.2	52.4
14	一橋大学	72.4	49.2	97.8	87.1	67.9
15	国際基督教大学	71.8	52.2	98.7	64.5	83.9
16	千葉大学	70.6	64.5	96.0	67.0	47.9
17	長岡技術科学大学	69.8	63.5	86.9	59.6	69.6
18	上智大学	69.1	42.9	98.6	64.9	88.8
19	金沢大学	68.6	67.0	93.7	60.2	(-)
20	国際教養大学	67.9	45.6	99.9	63.6	74.4
21	岡山大学	67.7	63.6	92.4	62.8	43.3
22	立命館大学	67.5	49.2	97.0	65.7	65.4
23	会津大学	66.3	60.3	87.4	42.8	75.8
24	立命館アジア太平洋大学	65.4	(-)	96.1	59.3	100.0
24	首都大学東京	65.4	60.7	84.6	64.1	47.0
26	熊本大学	65.3	66.1	82.6	61.1	(-)
27	東京外国語大学	64.9	(-)	95.7	54.5	87.5
28	九州工業大学	64.1	55.4	87.4	60.0	51.8
28	長崎大学	64.1	63.9	80.8	55.9	47.4
30	新潟大学	64.0	61.3	87.1	60.4	(-)

※表中の150位以内にランクインしていない項目は(-)と表記

【参考】

$$\text{総合} = \text{①} \times 38\% + \text{②} \times 26\% + \text{③} \times 20\% + \text{④} \times 16\%$$

「QS World University Rankings by Subject 2017」にランクイン

英国の世界大学評価機関 Quacquarelli Symonds (クアクアレリ・シモンズ: QS) による、QS World University Rankings by Subject 2017 (研究分野別 QS 世界大学ランキング 2017) に、本学がランクインしました。

このランキングは、研究に関する主要5領域46学術分野を網羅しており、学術関係者や企業からのアンケート、論文数及び引用データをもとに分析されています。

本学は、工学領域において『451-500位』となり、この領域では日本全国から18大学、九州では2大学が選ばれています。また、工学領域の電気・電子分野においても『351-400位』となり、こちらは日本全国から17大学、九州では2大学が選ばれています。

	Engineering & Technology	Computer	Chemical	Civil	Electrical	Mechanical	Mining	ASIA2016	ASIA2015
The University of Tokyo	11	18	10	12	13	8	#N/A	13	12
Tokyo Institute of Technology	18	51-100	21	43	19	30	#N/A	14	15
Kyoto University	22	51-100	6	18	51-100	22	#N/A	15	14
Osaka University	57	101-150	32	151-200	51-100	51-100	#N/A	17	13
Tohoku University	62	151-200	34	51-100	51-100	31	#N/A	20	20
Hokkaido University	95	301-350	51-100	101-150	151-200	101-150	#N/A	28	25
Kyushu University	96	151-200	51-100	101-150	101-150	101-150	24	32	28
Waseda University	105	101-150	101-150	151-200	101-150	51-100	50	41	39
Nagoya University	109	251-300	51-100	101-150	151-200	101-150	#N/A	26	21
Keio University	147	151-200	#N/A	#N/A	101-150	101-150	#N/A	42	37
University of Tsukuba	255	301-350	#N/A	#N/A	301-350	201-250	#N/A	34	33
Kobe University	286	401-450	201-250	#N/A	351-400	251-300	#N/A	65	41
Tokyo University of Science	344	#N/A	201-250	#N/A	#N/A	301-350	#N/A	114	133=
Hiroshima University	381	#N/A	151-200	#N/A	351-400	201-250	#N/A	79	53=
Yokohama National University	401-450	#N/A	#N/A	#N/A	251-300	201-250	#N/A	136	145
Chiba University	451-500	#N/A	#N/A	#N/A	301-350	#N/A	#N/A	123=	80=
Kyushu Institute of Technology	451-500	#N/A	#N/A	#N/A	351-400	#N/A	#N/A	175	191-200
Tokyo Metropolitan University	451-500	#N/A	251-300	#N/A	301-350	301-350	#N/A	119=	96=
ランクインした世界の大学数	501	501	301	200	402	400	53		
ランクインした日本の大学数	18	12	15	9	17	17	2		
日本の大学での順位	17/18位				15/17位				

Computer以降は、Engineering & Technologyにランクインした大学を対象に集計しているため、日本でランクインした大学数と異なります。

サンデー毎日 (2016. 7. 31) 「大学の通信簿」より

全国240大学 実就職率 ランキング	就職に力を入 れている大学	面倒見が良い 大学	入学後に生徒 を伸ばしてくれ る大学	小規模だが評 価できる大学	生徒に勧めた い大学 (国立大学)
第6位	第6位	第7位	第19位	第10位	第19位
・九州で1位 ・国立大学で2位	・九州で1位 ・国立大学で1位	・九州で1位 ・国立大学で2位	・九州で2位 ・国立大学で7位	・九州で1位 ・国立大学で2位	・九州で2位
サンデー毎日 (2016.7.31)	サンデー毎日(2016.9.18)『大学の通信簿』より (全国704校の進路指導教諭によるアンケート調査)				

2. 平成29年度事業（新規・重点継続）

（～改革の加速と持続的発展のための基盤整備～）

（1）国際連携強化のために

No.	事業内容
1	国際特任助教採用・外国人教員の短期受け入れ
2	海外の大学との研究連携の充実に向けた大学間共同研究支援、国際共同研究センター設置
3	博士論文・修士論文の国際共同指導の強化
4	協定校との連携強化などの国際連携高度化支援
5	教員海外派遣プログラムの充実

（2）戦略的研究推進のために

No.	事業内容
1	特任助教の採用等による先進的分野横断型研究の推進
2	外部資金獲得に向けたイノベーション推進機構及びURAの機能・組織見直し
3	論文数増大に向けた「特別研究員（DC1、DC2）」への申請支援
4	研究者支援、共同研究講座の設置・運営支援による産学連携研究の推進

（3）教育の高度化のために

No.	事業内容
1	グローバルエンジニア養成に向けた英語教育の強化体制の構築（目標 TOEIC600 点）
2	海外インターンシップや国際協働学習の促進による GCE 教育改革強化
3	大学院産学連携型教育プログラムの支援
4	学生データ（入試から就職まで）を活用した教育 IR の実践
5	留学生受け入れ促進に向けた英語で講義を行う大学院国際コースの充実
6	アントレプレナー教育の導入について検討

（4）高大接続の円滑化のために

No.	事業内容
1	多様な学生確保に向けたAO型入試の実施方法決定
2	全国からの志願者を増加させるため戦略的な入試広報の実施及び説明会の開催エリア拡大等
3	入試広報、高大連携、入学前教育、リメディアル教育等を利用した大学教育への接続のためのAO室の強化

(5) 組織・制度改革のために

No.	事業内容
1	理事・副学長の補佐体制構築及び企画室等の見直し ①副理事等の配置 ②企画室員任命方法見直し
(以下、事務職員対象事業)	
2	事務局制度の廃止と事務組織力強化 ①業務系統別の体制整理及び事務手続きの見直し ②課長懇談会の設置による組織間の連携強化 ③組織の枠を超えたコミュニティ形成の奨励
3	業務の質（正確性・効率性・継続性）を確保するための業務標準化
4	職員のアイデアを活かした業務改善活動の仕組み作り
5	各種支援体制の見直し ①委員会の廃止・業務見直しにより教育職員の教育研究に専念できる環境を実現 ②国際業務のワンストップ化、英語による情報提供
6	学外との連携 ①社会連携活動の統括組織整備 ②卒業生へのサービス提供及び同窓会との連携組織整備

(6) 積極的な情報発信のために

No.	事業内容
1	グローバル化に伴う国際的な情報発信力の強化 (英語版の大学案内動画やWebの充実)
2	企業・高校生に向けた本学の魅力を伝えるPR動画の制作

(7) 誇りを持って働ける職場作り

No.	事業内容
1	社会や産業界のニーズに広く応え、女性が活躍できる職場作り
2	各種対話の促進及び各種学内コミュニティ活動の奨励
3	省エネ・環境に配慮した学内施設整備
(以下、事務職員対象事業)	
4	意欲を伸ばし努力に報いる人事評価の策定、透明性のある意思決定体制の構築
5	組織見直し、業務改善、効率化による超過勤務に依存しない職場作り